

関西G空間フォーラム in 兵庫 講演会

I 大規模災害時の人工衛星画像の活用検討

画像から得られる被害の内容、活用方法

◆津波浸水域
令和6年能登半島地震（1/16:16:10発生）での事例
・国交省が航空写真より作成（1/12～1/17撮影⇒1/19公開）
・衛星画像でも同様の被害内容の把握が可能

津波浸水域（航空写真と重ね合わせ）
（空中写真情報による津波浸水域（想定））、「航空写真」（国土地理院）を加工して作成
入手時期：発災から2週間程度（全国的な被災状況、被害活用状況による変動あり）

◆被害の全体像把握、調査範囲の絞り込み
・被害の全体像を早期に把握し、調査範囲を絞り込むことで被害状況調査の効率化に活用。
・被害の小さい地域から被害の大きい地域へ職員派遣の検討に活用。

活用方法
被害小 職員派遣 調査範囲の絞り込み 調査範囲の絞り込み

I 大規模災害時の人工衛星画像の活用検討

画像から得られる被害の内容、活用方法

◆地殻変動量（隆起・沈降量、水平変動量）
令和6年能登半島地震（1/16:16:10発生）での事例
・国交省・JAXAが衛星画像より作成（1/11、1/2観測⇒1/2公開）

地殻変動量（上下方向）
地殻変動量（東西方向）
（出典：国土地理院ウェブサイト（解読：国土地理院、原データ提供：JAXA））

主な地点の地殻変動量
（出典：国土地理院ウェブサイト）

◆地殻沈降後の高潮浸水想定区域の把握
・南海トラフ地震により地殻沈降が発生した際に、その後の台風に伴う高潮による浸水想定区域・浸水深の把握に活用。
（津波浸水想定区域図では、地殻沈降量は考慮済み）

活用方法
地殻沈降量 高潮浸水想定区域図
（高潮による浸水シミュレーションを本図に重ね合わせることで利用）

II 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

兵庫県CGハザードマップサイトとは
リニューアルサイトURL
<https://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>

○ 河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域などを示す「ハザードマップ」（浸水想定区域図等）、水位など災害時の「リアルタイム情報」、過去の災害情報など「防災学習情報」を1つに集約した、平時時・災害時に利用できる防災ポータルサイト
○ アクセス数は年間42万回（令和4年度）と、多くの方が利用

リニューアルの経緯
サイトオープン（平成17年8月）から18年が経過
【利用者意見】
○ 掲載情報が多く閲覧しづらい
○ 国のデジタルハザードマップサイトとどちらを見ればよいのか
【ひょうご事業改善レビュー意見（第5回外部委員会 令和4年9月12日）】
○ 地域の災害情報が検索しにくい、学校の先生等が防災学習用の資料として容易に使えよう検索システムを設けるなどの改善をすべき 等

CGハザードマップのシステム改善に取り組み、令和5年10月リニューアル
①レイアウトを刷新、②国のハザードマップを組込み、③検索システムを改良

II 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

刷新ポイント1 レイアウトを刷新！
トップページのリンク先を3つに集約し、わかりやすくしました！

どのボタンを押したらいいの・・・
情報が盛り沢山・・・
とっつきにくいなあ～

II 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

刷新ポイント2 新たに整備された国のデジタルハザードマップサイトを組込み！
国のデジタルハザードマップサイトが、国管理河川だけでなく県管理河川も含める形で令和5年7月にリニューアルされたため、これを組込みました！

サイトによって、更新頻度が違うから、
区域の範囲が違うけど・・・
どこか1つのサイトでまとめて見れないかな・・・

II 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

刷新ポイント3 防災学習情報の検索システムを改良！
過去の災害情報を災害別、地域別、年度別で選択できるよう改良し、検索しやすくしました！

自分が住んでいる地域の災害記録を知りたいなあ～